

最近の経済動向

(ダイジェスト版)

令和6年4月号

(北海道の景気動向～令和6年2月の経済指標を中心として)

持ち直しの動きが続いている

■ 生産動向

- P1 生産活動(鉱工業生産指数)
持ち直しの動きに足踏みがみられる

■ 需要動向(消費・投資)

- P1 個人消費(百貨店・スーパー・コンビニエンスストア・専門量販店販売額、インターネットを利用した一世帯支出額、新車登録台数)
着実に改善が続いている
- P3 住宅建設(新設住宅着工戸数)
減速感が強まっている
- P3 公共工事(公共工事請負金額)
持ち直しつつある
- P4 観光(来道者数、来道外国人数、宿泊者数)
着実に改善が続いている
- P5 輸出入(輸出額、輸入額)
輸出額は前年を上回り、輸入額は下回った

■ 企業倒産

- P5 企業倒産(倒産件数、負債総額)
倒産件数、負債総額ともに減少した

■ 雇用動向

- P6 求人・求職(月間有効求人数・求職者数、有効求人倍率、完全失業率)
持ち直しの動きにやや弱さがみられる

■ 物価動向

- P7 物価(消費者物価指数)
消費者物価指数は前年を上回った

■ 企業の業況感

- P7 企業経営者意識調査
前期から下降している
- P8 企業のみなさまから伺いました

北海道経済部経済企画局経済企画課

生産活動～持ち直しの動きに足踏みがみられる

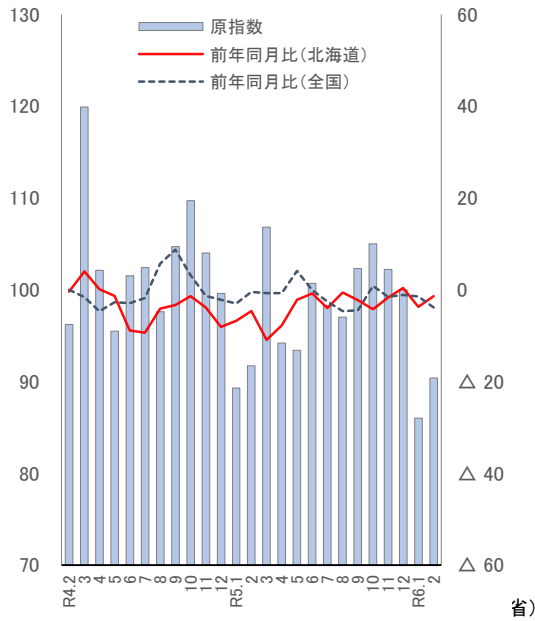
鉱工業生産指数(2月)

鉱工業生産指数の原指数は、90.4(2020年=100)で前年同月比 Δ 1.4%となり、2か月連続で前年を下回った。季節調整済指数は、95.5となり、2か月ぶりに前月を上回った。

【原指数】

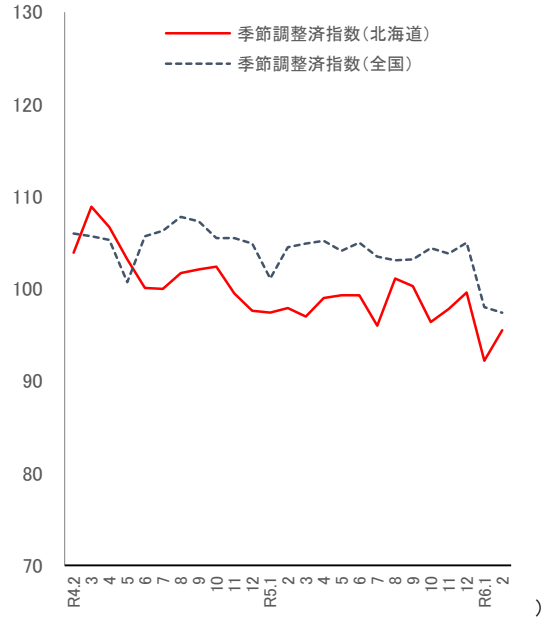
(2020年=100)□

(前年同月比: %)



【季節調整済指数】

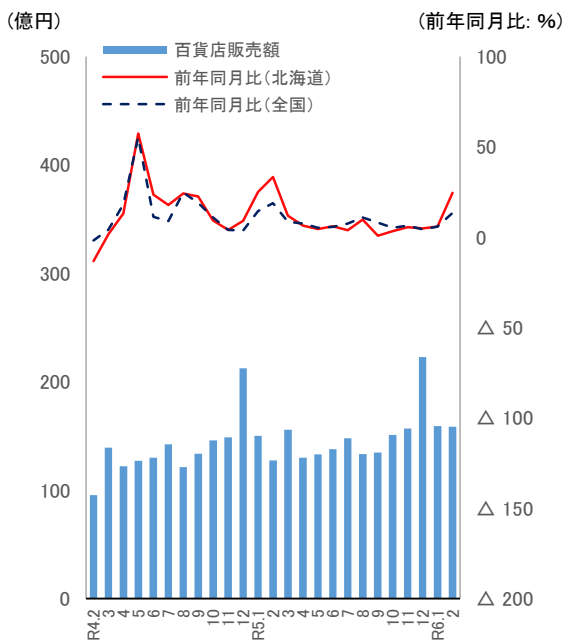
(2020年=100)□



個人消費～着実に改善が続いている

百貨店販売額(2月)

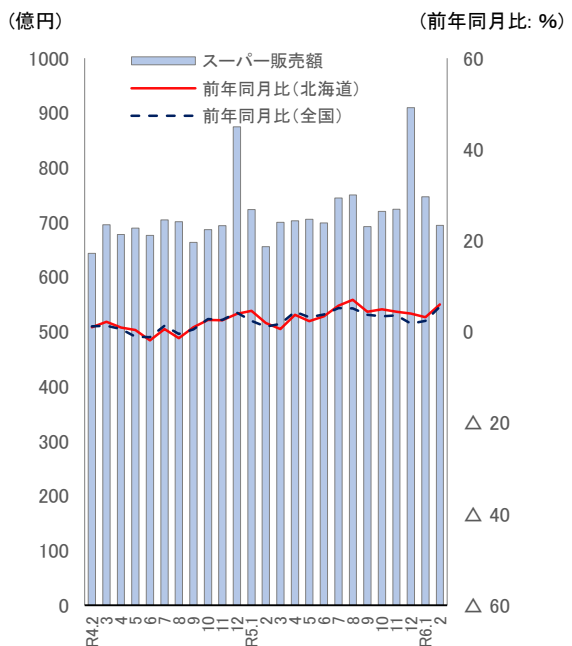
百貨店販売額は、158億円で前年同月比+24.5%となり、24か月連続で前年を上回った。



(資料:北海道経産局、経済産業省)

スーパー販売額(2月)

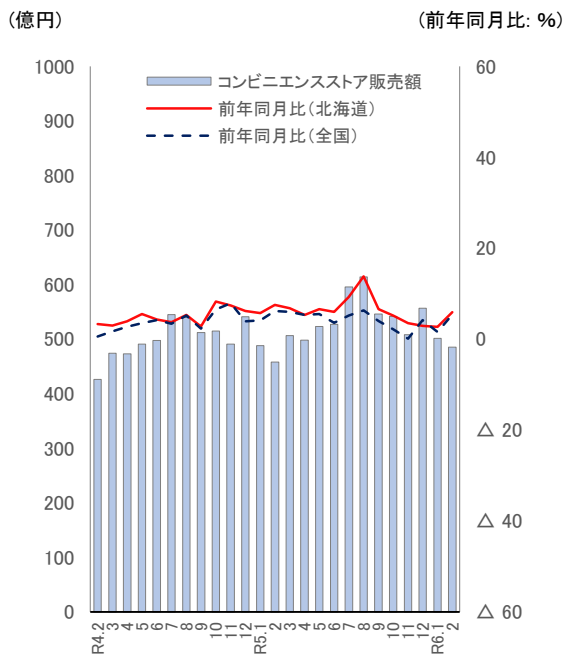
スーパー販売額は、695億円で前年同月比+6.0%となり、18か月連続で前年を上回った。



(資料:北海道経産局、経済産業省)

コンビニエンスストア販売額(2月)

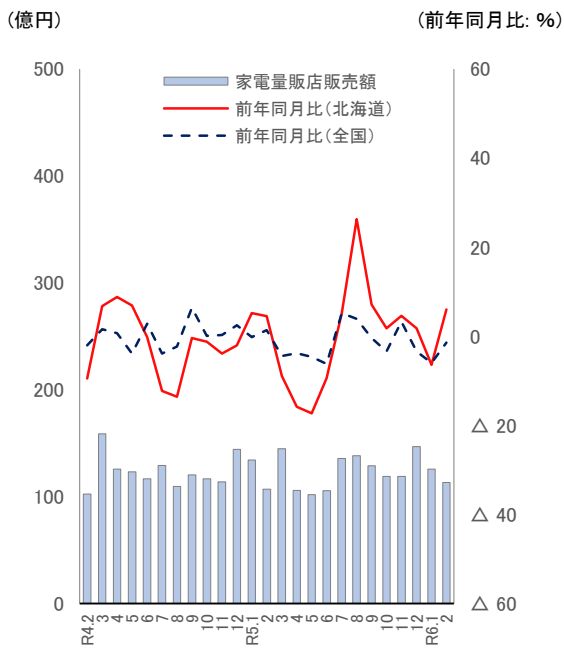
コンビニエンスストア販売額は、485億円で前年同月比+5.9%となり、28か月連続で前年を上回った。



(資料:北海道経産局、経済産業省)

家電大型専門店販売額(2月)

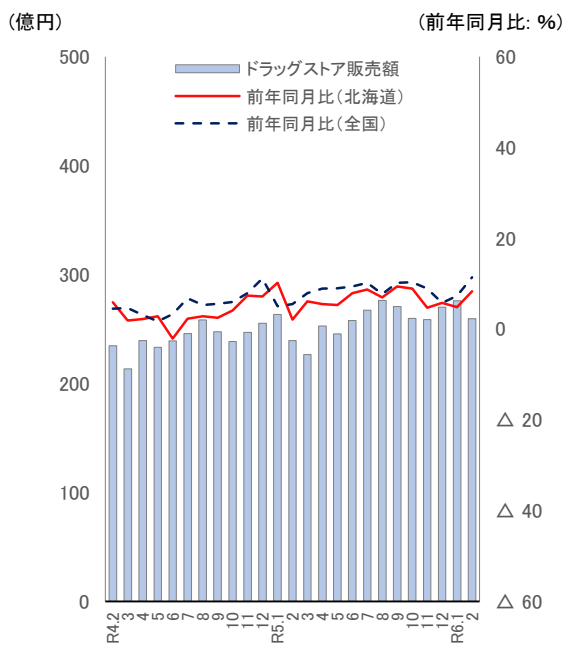
家電大型専門店販売額は、113億円で前年同月比+6.0%となり、2か月ぶりに前年を上回った。



(資料:北海道経産局、経済産業省)

ドラッグストア販売額(2月)

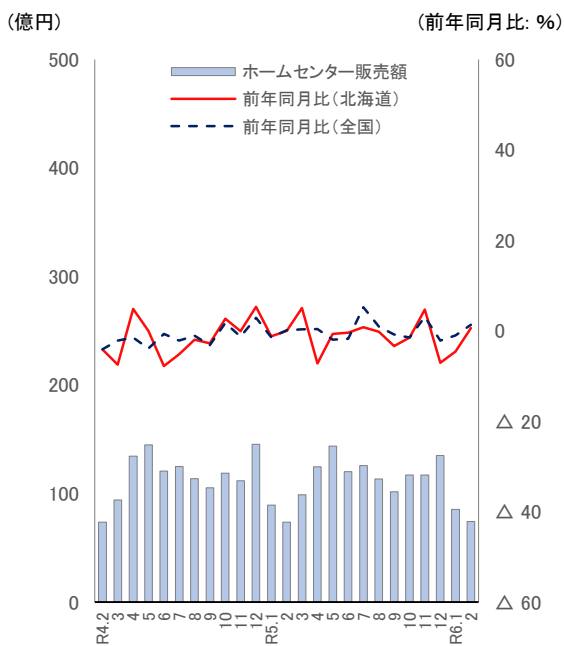
ドラッグストア販売額は、260億円で前年同月比+8.3%となり、20か月連続で前年を上回った。



(資料:北海道経産局、経済産業省)

ホームセンター販売額(2月)

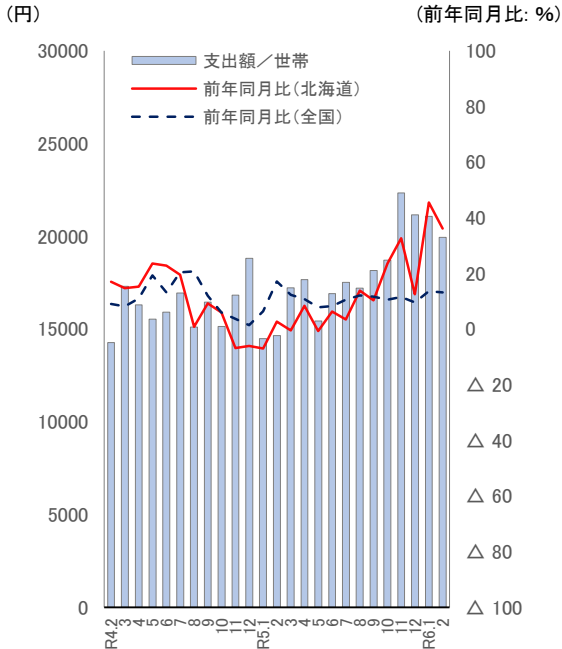
ホームセンター販売額は、74億円で前年同月比+0.6%となり、3か月ぶりに前年を上回った。



(資料:北海道経産局、経済産業省)

インターネットを利用した1世帯あたり1か月間の支出(2月)

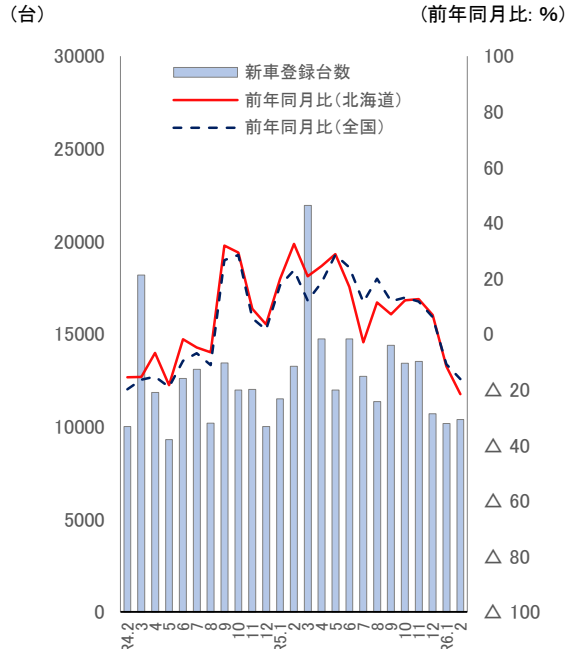
インターネットを利用した1世帯あたり1か月間の支出総額は、19,950円で前年同月比+36.1%となり、9か月連続で前年を上回った。



(資料:総務省)

新車登録台数(2月)

新車登録台数は、10,388台で前年同月比△21.6%となり、2か月連続で前年を下回った。

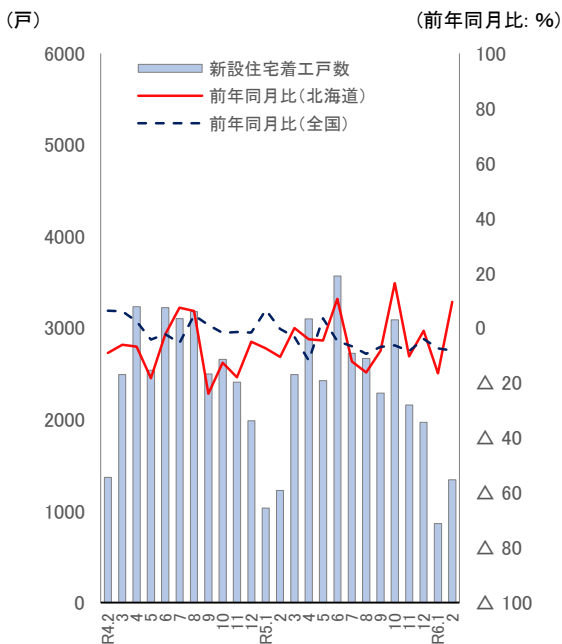


(資料:(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車販売協会連合会)

■住宅建設～減速感が強まっている

新設住宅着工戸数(2月)

新設住宅着工戸数は、1,340戸で前年同月比+9.5%となり、4か月ぶりに前年を上回った。

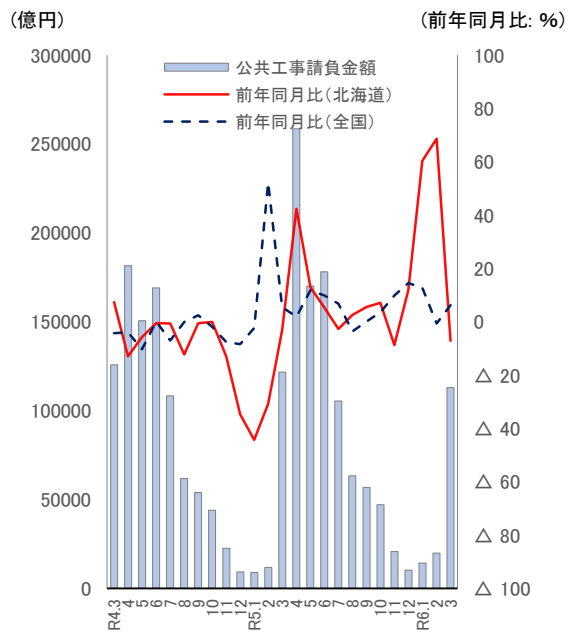


(資料:国土交通省)

■公共工事～持ち直しつつある

公共工事請負金額(3月)

公共工事請負金額は、1,130億円で前年同月比△7.2%となり、4か月ぶりに前年を下回った。

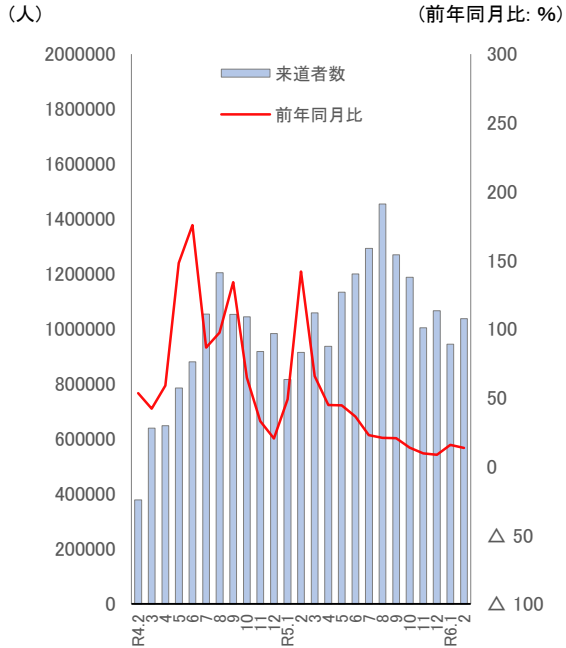


(資料:北海道建設業信用保証(株))

■観光～着実に改善が続いている

来道者数(2月)

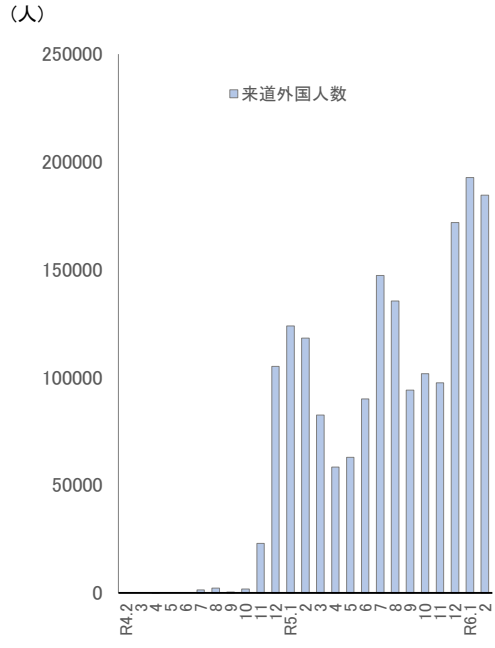
来道者数は、1,037,298人で前年同月比+13.4%となり、28か月連続で前年を上回った。



(資料: (公社)北海道観光振興機構)

来道外国人数(2月)

本道に直接入国した外国人は、184,486人となった。

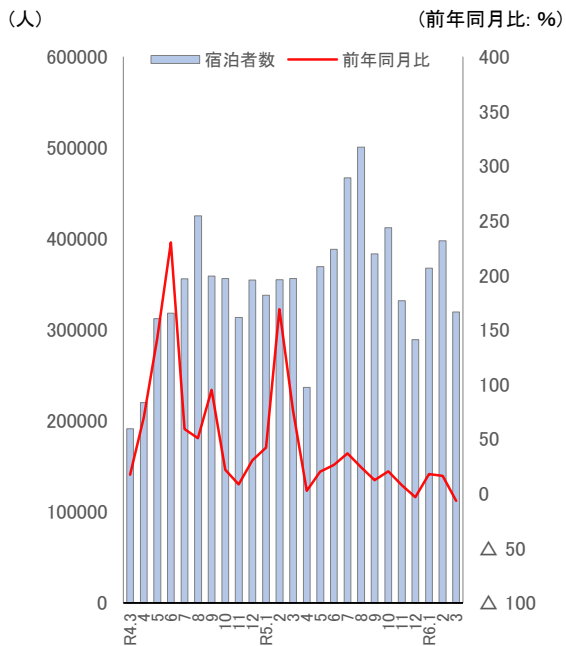


*速報値

(資料: 法務省入国管理局)

宿泊者数(3月)

日本旅館協会加盟施設の宿泊者数は、319,691人で前年同月比△6.5%となり、3か月ぶりに前年を下回った。

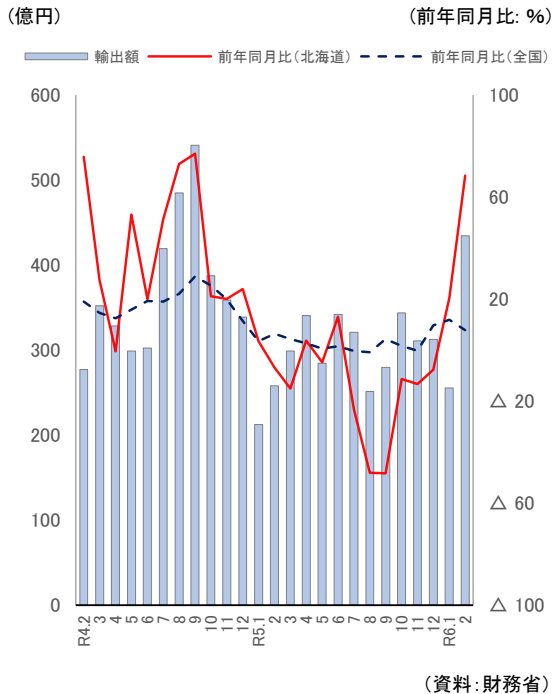


(資料: 日本旅館協会北海道支部連合会)

■輸出入～輸出額は前年を上回り、輸入額は下回った

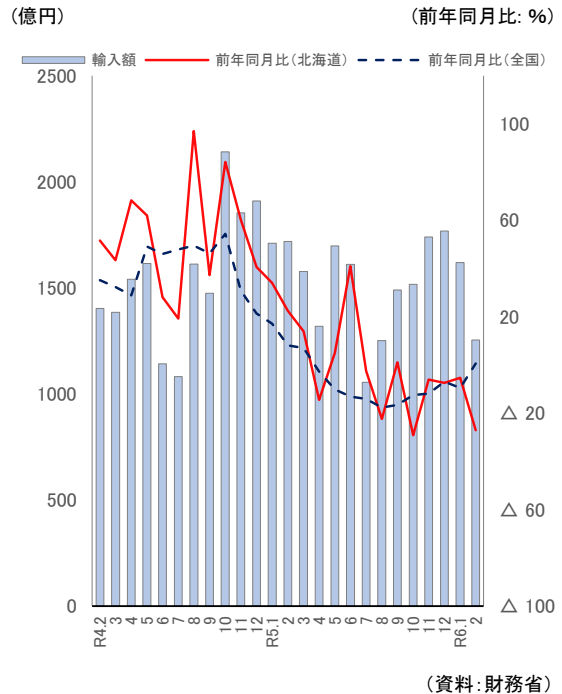
輸出額(2月)

輸出額は、435億円で前年同月比+68.4%となり、2か月連続で前年を上回った。



輸入額(2月)

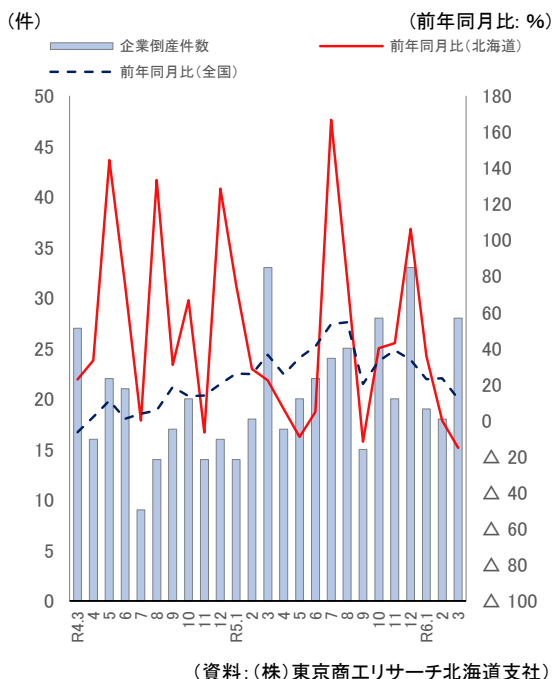
輸入額は、1,255億円で前年同月比△27.0%となり、5か月連続で前年を下回った。



■企業倒産～倒産件数、負債総額ともに減少した

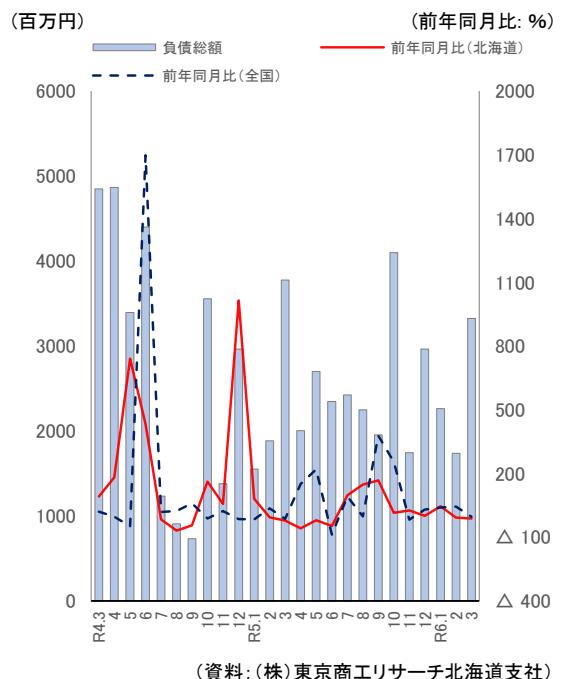
倒産件数(3月)

企業倒産件数は、28件で前年同月と比べ5件の減少となった。



負債総額(3月)

負債総額は、3,323百万円で前年同月比△12.0%となり、2か月連続で前年を下回った。



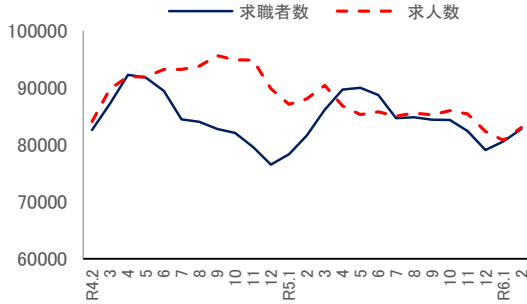
■求人・求職～持ち直しの動きにやや弱さがみられる

月間有効求人数・求職者数(2月)

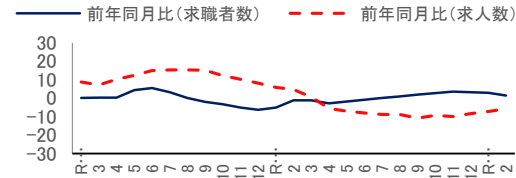
月間有効求職者数は、82,741人で前年同月比+1.4%となり、8か月連続で前年を上回った。

月間有効求人数は、82,978人で同△5.7%となり、11か月連続で前年を下回った。

(人)



(前年同月比: %)

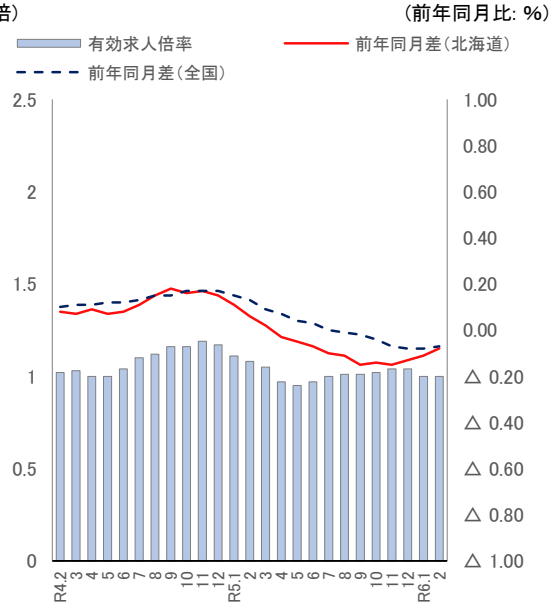


(資料:北海道労働局)

月間有効求人倍率(2月)

月間有効求人倍率は、1.00倍で、前年同月差△0.08ポイントとなり、11か月連続で前年を下回った。

(倍)

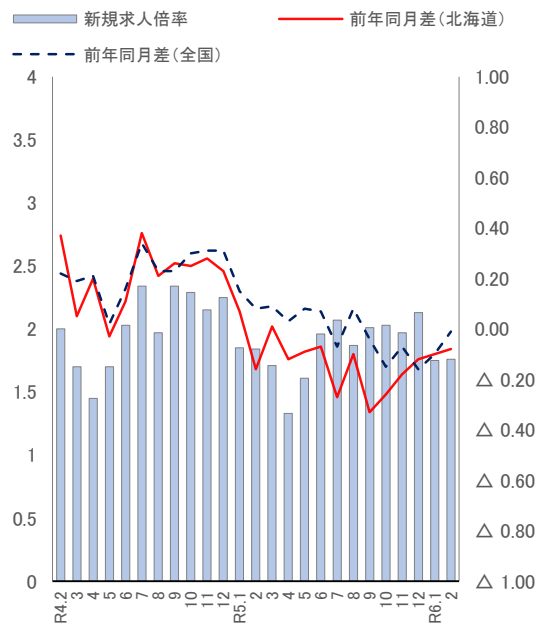


(資料:北海道労働局)

新規求人倍率(2月)

新規求人倍率は1.76倍で、前年同月差 △0.08ポイントとなり、11か月連続で前年を下回った。

(倍)



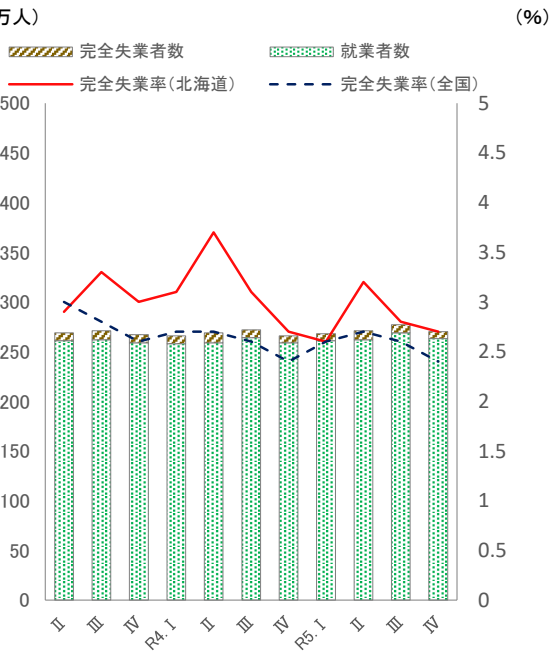
(資料:北海道労働局)

完全失業者、完全失業率(令和5年10～12月期)

完全失業者数は、7万人で前年同期差+0万人となった。

完全失業率は、2.7%で前年同期差△0.0ポイントとなった。

(万人)

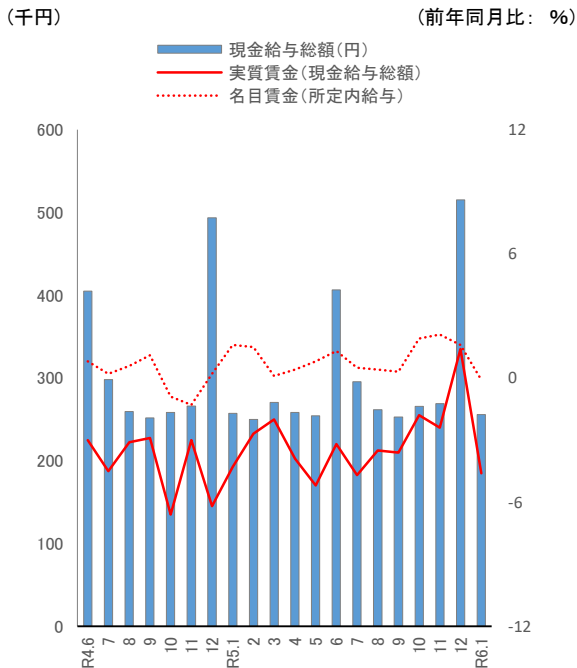


(資料:総務省)

■物価～消費者物価指数は前年を上回った

毎月勤労統計地方調査(1月)

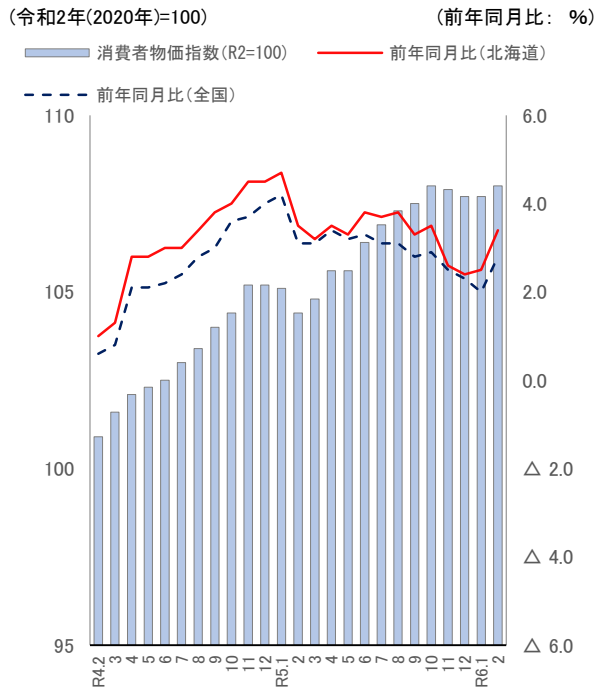
現金給与総額は、255,830円で、6か月ぶりに前年を下回った。実質賃金は、2か月ぶりに前年を下回った。



(資料：北海道 毎月勤労統計地方調査)

消費者物価指数(2月)

消費者物価指数(生鮮食品を除く)は、108.0で、前年同月比+3.4%となり、32か月連続で前年を上回った。



(資料：総務省)

■企業経営者意識調査～前期から下降している

令和5年10～12月期(第Ⅳ四半期)の業況感BSIは△6ポイントで前期差△5ポイント、前年同期差+2ポイントとなった。来期見通しは、△10ポイントで、今期から△4ポイントとなった。

(BSIポイント)



※BSIポイント

「上昇」と回答の割合(%)-「下降」と回答の割合(%)

※業況感BSI

自社の業況について、前年同時期との比較で「上昇」、「横ばい」、「下降」を回答

※景況感BSI

道内の景気について、直前の四半期との比較で「上昇」、「横ばい」、「下降」を回答

(資料：北海道経済部調べ)

■企業のみなさまから伺いました

◆コンビニエンスストア（道央地域）

◎3月は、前年同月は最高気温が高く雪解けが早かったが、今年は平年並みに推移したため、客足に影響が出た。

◎家で消費される商品群が好調に推移した一方、外出増加に比例して増加する商品が伸び悩んだ。物価が上昇しているため、煙草や酒類などの嗜好品を控えて節約する傾向が見えている。

◆家電大型専門店

◎2月は、特にインバウンドのお客様について、売上、客数、買上点数ともに、前年を大きく上回った。

◎また、全体でも、客単価が前年を大幅に上回っており、節約志向、買い控えの傾向は落ち着きつつあると見ている。

◆スーパー（道央地域）

◎3月は、売上、客数ともに前年を上回った。また、客単価や買上点数についても前年を上回っており、ひな祭りの「ハレの日」のご馳走需要の好調など、“節約志向”、“買い控え”の傾向は落ち着きつつあるとみている。

◆スーパー（道央地域）

◎2月の売上は前年並みで、客数は若干前年を下回ったが、お客様おひとりあたりのお買上げ点数については、3月に入って前年を上回った。

◎鮮魚が好調で、特に、寿司、まぐろ、かに等の売上が伸長。ひな祭りや卒入學式などの「ハレの日」のご馳走需要が好調で、節約志向の傾向は落ち着きつつある模様。

◆百貨店（道央地域）

◎3月は、売上・客数ともに前年を上回り、富裕層やインバウンドのお客様による高級ブランドや宝飾品等の売上好調が継続。

◎卒入學式などのオケーション需要や新生活に向けたフォーマル商材も好調。

◆ホームセンター

◎2月は、売上・客数ともにほぼ前年並みとなった。また、お客様お一人あたりのお買上げ点数については、前年を若干下回った。

◎今春は、雪解けが遅く、例年に比べて、サイクルやガーデニング関連の商品の動きが鈍い。

◎一方、毎夏、猛暑が続くため、早くもエアコンの動きが好調。

最近の経済動向

(ダイジェスト版)

令和6年4月号

編集・発行 北海道経済部経済企画局経済企画課

TEL 011-204-5139

「最近の経済動向」のデータ集は、北海道のホームページでご覧になれます。

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/saikin-doukou.html>